

風 かせ カゼ

2000. 8. 14発行 NO. 24

◇残暑お見舞い申し上げます

連日暑い日が続いています。しかし、立秋を迎えたせいか朝夕には涼風を感じ、小さな秋を見つけられる昨今です。皆様如何お過ごしですか。しかしまだまだ残暑は厳しいと思われます。くれぐれもご自愛下さい。

◇聞くこと (2)

先号で「聞くこと」は相手の立場に立つ 知る 認めることが基盤になる旨記しました。今号では身近な生活語から、1・2ご紹介します。最初に浄土真宗の法義の厚い北陸富山県での話です。この土地の古農夫の人は、今でも田んぼを見てくるとは言わず、「田んぼに聞いてくる」というそうです。田んぼが水を欲しがっているかもしれない、雑草を除くと訴えているかもしれない。と、米の生産に全てをかけている農夫にとっては、田んぼと農夫は別のものでなく一つなのでしょう。田んぼを外から眺めるのではなく、田んぼの立場に立っての言葉として今でも生きています。同じく入取水・除草の作業でも「見に行く」とでは中身が違います。当地の当たり前米収穫高日本一も領けるような気がします。

二つ目は過日大根の煮付についてTVで放映していた時感じたことです。ご講師の話の中で味は「大根に聞いてください」と言われた。大根本来の味を引き出すために、塩や味噌や調味料を添えるもの、料理はあくまで自分の好みの味でなく材料を生かすための添味でありたいとの由、納得したり、感心したりしたことでした。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

人生は

深い縁(エシ)の

不思議な

出遇いだ

板村真氏